

つばきの

第30号

平成二十九年三月十七日発行
松山中央高校家庭クラブ



祝！「つばきの」三十号

校長 藻利 毅



新年、三学期が始まって早々、家庭クラブ会長の花井葉里さんが、顧問の近藤安美先生とともに、今年の干支（酉）のマスコットを持ってきてくれました。家庭クラブのボランティア活動のひとつとして和光苑の皆さんにプレゼントしており、毎年大変心待ちにされているのだそうです。今年は百個近く制作し、私もその一つをお裾分けいただいたわけですが、私が酉年であることもあり、とても気に入っています。

「平成二十九年が楽しく幸せな一年になりますように」というメッセージが添えられていて、温かい気持ちになります。さらに、校長室の掃除担当の皆さんが、カレンダーとモットーCHALLENGEの額との間にバランスよく飾ってくれていて、いい感じで見守り続けてくれます。皆さん、ありがとうございます。どんな様子なのか興味がある人は、是非見に来てください。

ところで、今回の家庭クラブ誌「つばきの」は、これまでの歴史が反映された記念すべき第二十号です。おめでとうございませう。本誌の活動内容に目やると、家庭クラブとして、先ほど紹介した

干支のマスコット制作など、実に多彩な活動を実施しています。その一つ一つの活動の積み重ねが大きな成果につながることを教えてくれているように思います。役員の皆さんを始め会員の皆さん、本当にお疲れ様でした。特に何かを意識することなく何となく参加したという活動もあつたかもしれません。しかし、実際に活動に参加し、身体を動かすことによって感じたり考えたりすることがあつたのではないのでしょうか。実際に体験することによって分かることがあるのだと思います。「体験してはじめて身につくんだなあ」（相田みつを）という言葉が頭に浮かびます。

さて、学校家庭クラブは、全国高等学校家庭クラブ連盟（F H J）という全国組織に所属しています。（F H Jの原点はアメリカの家庭クラブ（F H A）にあります。現在アメリカでの名称はF C C L Aと改称されているそうです。興味のある人がいれば、ホームページ等で調べてみるというでしょう。）F H Jでは、学校家庭クラブ活動の4つの基本精神として、「創造」（常に新しいものを創造し飛躍しようとする意欲をもつこと）、

「勤労」（労を惜しまず、体を動かして実践すること）、「愛情」（優しくあたたかい気持ちをもって物事にあたること）、「奉仕」（他人への思いやりの心をもつて尽くすこと）を掲げています。皆さんは、この基本精神に基づいて様々な活動を行っているのですが、実際に活動をするにより、その精神の持つ意味をより深く理解し、一歩一歩確実に成長していることを大変うれしく思います。

また、人の温かさに触れることもできました。この活動がきっかけで、さらに新しい経験を求めて、二月に開催された愛媛マラソンのボランティアにも友達と参加してきました。どれも私にとって良い思い出となりました。

一年間を通して、まずこのような機会を与えてくださった先生に感謝したいです。そして、家庭クラブに携わることができて本当に良かったです。

みなさんもボランティアの機会があれば、ぜひ思い切つて参加してみてください。きっと、「またボランティアしたいな」と思えるはずです。

ボランティアの楽しさ

会長 二〇六 花井 葉里

今年度の家庭クラブ活動も、充実していました。家庭クラブ中予支部研究協議会や県大会への参加、和光苑にプレゼントするマスコットの制作、松山豊学校との交流、他校との意見交換、各種ボランティアなど、私は会長としてさまざまなお仕事を頂きました。

私は、ボランティアに少し興味はあつたけれど、なかなか機会がなかったり、参加する勇気を出せなかったりして、いました。そんな時に、先生から家庭クラブの会長を薦められました。最初は慣れず、うまくいかないこともありましたが、仕事をしていくうちに、ボランティアの楽しさに気付くことができました。

役員紹介



後列右から

前列右から

会 計 金 森 秀 人 副 会 長 日 野 愛 菜
監 査 有 光 恒 汰 会 長 花 井 葉 里
監 査 大 内 麻 由 副 会 長 千 崎 天
監 査 山 下 ち ひろ 書 記 栗 田 要



☆松山乳児院訪問

職員の方々の大変さとりがい

一〇九 立山 恵里

今回、私は〇一歳の子どものたちのお世話をしました。あまりに小さくて、初めは少し戸惑い、どう接してよいかわかりませんでした。しかし、職員の方が優しく教えてくださり、だんだん慣れていきました。首のすわっていない子もいたので、正しい抱き方や、ミルクを飲んだ後の「げっぷ」のさせ方も学ぶことができました。

職員の方々は、子どもたちの体調に常に気を配り、何時にもミルクを飲み、どれくらい飲んだかも詳しく記録されていました。子どもの汚物で服が汚れた際には、着替えるように言われました。

もし、菌があつた場合、他の子にうつる可能性があるからだそうです。それだけ衛生管理をしっかりされているのだと思います。

私は、今日一日の体験を通して、保育士の仕事の大変さや、やりがいを感じる事ができました。また、機会があれば参加したいです。

乳児院でのボランティア

二〇九 山本 来夢

私はひまわりクラスを担当しました。最初は、こわがられたり、泣かれたりするかもしれないと思っていましたが、すぐに抱きついてきてくれて、すごくうれしかったです。外で水遊びをしたり、久

しぶりに泥だんごを作ったりして、みんなで笑い合つて幸せでした。

お昼ご飯を食べた後、お昼寝をしている間に、先生方と一緒に掃除をしました。床の雑巾がけや洗い物、除菌スプレーをしました。かなり大変でした。これを毎日して、子どもが起きたら一緒に遊んで、ずっと笑顔で過ごしている先生方はすごいと思いました。

大変なこともありましたが、子どもたちの笑顔を見たり、「ありがと」と言われたりすると、やつて良かったという気持ちの方が強くなりました。一部のお手伝いでしたが、一日活動できて良かったです。



	日	活 動 内 容
4	上旬 中旬	役員会 家庭クラブガイダンス
5	1 8 21 28 20～6/5	乳児院訪問① 乳児院訪問② 乳児院訪問③ 乳児院訪問④ 家庭クラブ週間①
6	9 12	中予支部総会 ～長浜高校にて～ 乳児院訪問⑤ (中止)
7	19 20 22～27 21～8/1 30	松山聾学校訪問 家庭クラブ便り①編集・発行 老人ホーム「和光苑」半日ボランティア 石井児童クラブ半日ボランティア 乳児院訪問⑥
8	上旬 9	ホームプロジェクト実施 愛媛県高等学校家庭クラブ研究 発表大会 ～コスモスホール三間～
9	3 11 19 22 25	運動会受付接待 乳児院訪問⑦ 乳児院訪問⑧ (中止) 老人ホーム「和光苑」夏祭りボランティア 乳児院訪問⑨ (中止)
10	10 11 15	乳児院訪問⑩ 乳児院訪問⑪ 中央祭 調理講習会(エンジョイックンゲ) バルーンアート講習会、家庭クラブ活動報告
11	上旬 下旬	愛媛県ホームプロジェクトコンクール応募 干支のマスコット制作の準備
12	中旬 19 20 28	干支のマスコット制作 クリスマススイーツ講習会 家庭クラブ便り②編集・発行 老人ホーム「和光苑」訪問
1	下旬 16～31	新聞「つばき」の編集開始 家庭クラブ週間②
2	下旬	新聞「つばき」の編集
3	10～14 中旬 17 下旬	ペーパーホルダーの洗濯・修繕 料理講習会 (2年生対象) 新聞「つばき」の30号発行 テーブルマナー講習会(中止)
年間の活動		朝清掃 (1クラス1週間) 家庭クラブ委員会・役員会 書き損じハガキ・古切手・使用済み テレホンカード、プリンタインカートリッジの収集



☆石井児童クラブ訪問☆

貴重な体験を通じて

一〇七 玉井 龍生

高校生活初めてのボランティア活動として、自分は石井児童クラブでボランティアをさせていただきました。

一日目。人見知りの私はなかなか馴染むことができませんでした。しかし、支援員の方が一人の子に出会わせてくださいました。その彼は、とてもやんちゃな子で、いたずら好きな子でした。走り回ったり、他の子たちの邪魔をしたりする彼は、支援員の方にも怒られていました。一日目は、ほぼつきつきりで彼と遊び、いたずらを止めていました。一日中一緒にいるうちに、だんだん彼のことが分かってきた気がしました。

その後の二日目、三日目も、彼や他の子たちと充実した時間を過ごすことができました。三日間という短い時間でしたが、石井児童クラブの子たちや支援員の方々から、多くのことを学ばせていただきました。今回のボランティアで得た多くの経験と学びを将来に生かしたいと思いました。また、来年もボランティアに参加したいです。

ボランティアを通して

一〇一 下田 真唯

私は初めて石井児童クラブでボランティアに参加しました。初めての活動

で、何をどうしたらいいのか分からなかったけど、小学生の子どもたちが次々に話しかけてきてくれて、とてもうれしかったです。

一緒に遊んでいた子どもたちがけんかを始めてしまい、私が困っていた時、職員の方が子どもたちに厳しく注意しているのを見て、時には厳しく接することも大切だと実感しました。

最終日には、高学年の子どもが多い教室の担当をしました。その日はスイカ割りの日で、みんなでスイカ割りを楽しみました。終わった後、スイカを食べながら「おいしいね」と子どもたちが話しかけてきてくれて、とても温かい気持ちになりました。

三日間のボランティアを通して仕事の大変さと楽しさを存分に実感することができました。この経験を、来年のボランティア活動に生かしていきたいです。



☆中央祭での活動☆

エンジョイクッキングに参加して

二〇七 千崎 天

私は今回中央祭のエンジョイクッキングに役員として参加しました。昨年は部活動が忙しくて参加できなかったのですが、とても楽しみにしていました。

役員としての仕事は大きく分けて二つで、前日の準備と当日のピザ作りの説明でした。前日の準備では、エンジョイクッキング当日に材料の不足がないように、またおいしくなるように、役員四人で一生懸命作業しました。当日は、朝早く来て、参加者全員でピザの生地作りをしました。どの準備もミスなくスムーズにできたので、良かったです。

ピザ作りもうまくいきました。私たちは、一、二年生が一緒になった班でしたが、協力しておいしいピザを作ることができ、とても満足でした。

来年の中央祭でもエンジョイクッキングがあると思うので、みなさんもぜひ参加してピザ作りを楽しんで下さい。

バルーンアート講習会を通して

一〇八 大内 麻由

私は今回この講習会を行うにあたって、初めてバルーンアートをしました。最初の頃は、元々不器用なこともあり、他の人たちよりも作りあげるのがとても遅かったです。思っていた以上に難し

く、これを人に教えることが、果たして自分のできるのかと不安になりました。そして迎えた当日、私の担当した時間には三人の方が来てくださり、内二人の子どもさんと一緒にバルーンアートを行いました。その時の私はすぐにはいかないうちでも、うまく作れるようにはなっていました。しかし、元来人見知りをする私は、子どもさんを相手に緊張してしまい、説明がよく伝わっていませんでした。相手も緊張させてしまいましたが、と思っていました。最後には、笑顔で「楽しかった」「よかった」といってもらえて、とてもうれしかったです。

来年もこういう講習会に参加することがかなうなら、今回の反省を生かし、より楽しいものにしていきたいです。



活動紹介

☆和光苑との交流活動☆

和光苑ボランティアで学んだこと

一〇二 村上 七夕

私には、看護師になりたいという夢があります。この和光苑ボランティアは、高齢者の方々と直接関わる事ができるいい機会だと思い、参加しました。

一日目は初めてということもあり、とても緊張しました。自分から話しかける勇氣・難しさを改めて実感しました。しかし、利用者さんはとても明るくてやさしく、すぐに打ち解けることができました。カラオケ大会を楽しむ利用者さんの笑顔は輝いていて、とても素敵でした。

二日目は、一日目とは違う利用者さんと関わる事ができました。その利用者さんは一日がとても退屈だと話しておられました。私は、どうしたらその利用者さんに一日が楽しいと思ってもらえるのだろうかと考えながら接しました。しかし、答えはどれも違う気がして、まだ解決できていません。

みなさんならどう考えますか。私はこの解決策を課題にして、将来の夢に繋げていこうと思います。

和光苑の夏祭りボランティア

一〇二 山下ちひろ

私は、ボランティアに参加するのも高齢者の方と関わるのも初めてだったのでとても緊張しました。

私が一日一緒にいた方は、とてもたくさん私のことを話してください、勉強にな

ることがたくさんありました。始めのうちにはうなずくことしかできなかったけれど、話しているうちに緊張がほぐれてきて、自分から話しかけたり、質問したりすることができるようになっていきました。話すときは笑顔で心がけ、なるべく大きな声ではっきり話すようにしました。一緒にいたお年寄りの方々に、「真顔でいる人より、笑顔でいるあなたの方が何倍もいいね」と言われて、とてもうれしかったです。

今回のボランティアでは、とてもたくさんのお話を学ぶことができました。また、他のボランティアにも参加してみたいと思いました。

和光苑ボランティアを通して

一〇六 稲田 彩花

私は、夏休みには和光苑ボランティアに2日間参加し、さらに夏祭りボランティアにも参加しました。

一日目は緊張して自分から話しかけることができませんでしたが、高齢者の方々はよく話す人が多く、私にも積極的に話しかけてくださいました。和光苑のデイサービスでは、毎日違ったレクリエーションや運動、勉強など、さまざまな活動が行われていました。レクレーションと一緒に体験することができてとてもよかったです。また、高齢者の方々にとっては、さまざまな活動を通してみんなで楽しむことができ、老化防止にもつながるのでとても良いことだと思いました。



ボランティアを通して、高齢者とのように接すると良いのか学ぶことができました。また機会があれば、ぜひ参加したいです。

マスコット作り

二〇六 日野 愛菜

今年は、酉（トリ）のマスコットを制作しました。はじめに、役員でマスコットの案を持ち寄り、デザインを決めました。普段マスコットを作る機会はありませんので、うまく形になるか不安だったけれど、話し合っていくうちにだんだん形になっていったのでうれしかったです。完成した全部のマスコットが集まったときは、様々な形や顔があつて、とてもかわいく見えました。

集まったマスコットを、役員で和光苑まで届けに行きました。今年もすごく喜んでくださり、車いすについていたり、部屋に飾ってくださいたりしていて本当にうれしかったです。過去のマスコットも大切にしてくださいているのを見て、頑張ってくださいなと思いました。最初は不安が多かったけど、作業が進むにつれて、次第に楽しさが増してきて不安はなくなっていました。今回の経験を生かしてこれからもいろいろなことに挑戦していきたいと思っています。



良いお年をお迎えください。



☆交流会☆

松山聾学校との交流

二〇八 栗田 要

僕は松山聾学校との交流で、貴重な経験をすることができました。

最初は人前で話すことやジェスチャーが、うまくできるのかなという不安がありました。しかし、いざやってみるとちゃんと伝えることができ、手話で自己紹介した後、好きな食べ物と部活をジェスチャーで表現しました。その後、ゲームをしたり、ボードを使ってお話をしたりして、楽しい時間を過ごすことができました。聾学校のみんなは耳が不自由だけれど、積極的にゲームをしたり、お話をしたりするので、とても楽しかったです。絵文字しりとりなどもして、とても楽しい時間となりました。

今回の交流を通して、耳が不自由でもみんな一生懸命に生きていると分かり、自分も何事にも一生懸命に生きるべきだと改めて気付かされました。また、聾学校のみんなから、たくさん元気をもらうことができ、本当に良かったです。

聾学校で学んで得たものを忘れず、今後の生活に生かしていきたいです。皆さんもぜひ交流してみてください。

